



株主通信

平成28年3月期報告書
平成27年4月1日～平成28年3月31日

70th
Anniversary

証券コード：6413

理想科学工業株式会社



平成28年3月期を終えて

平成28年3月期の概況について、社長の羽山明よりご説明いたします。



代表取締役社長 羽山 明

インクジェット事業の消耗品が順調に増加

第五次中期経営計画「RISO Vision 16」の最終年度である平成28年3月期は、インクジェット事業における消耗品の販売が国内・海外ともに順調に増加したものの、本体の販売が前期並みでした。

孔版事業の減少傾向が継続した結果、売上高は前期比0.3%減の854億5千4百万円、営業利益は同4.2%減の65億5千1百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同6.3%減の52億6千7百万円となりました。

販売管理費については、ほぼ前年並みとなりました。インクジェット事業譲り受けにより発生したのれんの償却が前期に完了しましたが、アジアでの販売費用や研究開発費が増加しました。

当期における海外の売上高比率は、前期比0.6ポイント増の43.2%。インクジェット事業の売上高比率は、同2ポイント増の45%となりました。

アジアでは2ケタ成長を達成

当期は、新規顧客の獲得と海外事業の拡大を目指し、5つの経営方針を掲げました。

このうち「全世界で販路拡充と新規顧客の獲得を推進する」については、国内外で高速カラープリンター「オルフィス」の販路の拡大と新しい市場の開拓を行いました。

「重点地域の販売を強化し、海外事業を加速する」については、インクジェット事業をすべての地域で拡大するため、昨年4月にシンガポールに、同年9月にトルコに新たに販売子会社を設立するなど、引き続き販路の整備とソリューション営業の強化に取り組みました。

その結果、印刷機器事業の売上高は、前期比0.2%の減少となりました。欧州はインクジェット本体の販売減少と為替の円高影響により減収となりましたが、アジアでは2ケタの成長を達成しました。印刷機器事業の営業利益は、為替の影響により前期比2.2%の減少となりました。欧州は減益となりましたが、円高の影響を除けば増益となります。アジアではインクジェット事業の好調と円安影響もあり、大きく伸長しました。

「オルフィスFWシリーズ」と 『RISO CV3230』を発売

インクジェット事業では、現行の高速カラープリンター「オルフィスEXシリーズ」に加わる新ラインアップとして、

本年3月に「オルフィスFWシリーズ」を発売しました。同シリーズは、「オルフィス」の特長である高い生産性と経済性を維持しながら、オフィスに導入しやすいコンパクトサイズ（従来機種比約3分の2）を実現したものです。オフィスの多枚数市場へのさらなる浸透を目指します。

孔版事業では、昨年6月に、新興国向けに「リソグラフ」の新モデル『RISO CV3230』を発売しました。同モデルは、新興国向けとして初めて液晶ディスプレイを搭載するなど、操作性や基本性能を向上させたものです。同モデルの投入により、新興国におけるデジタル印刷機のユーザー層の拡大に努めています。



「RISO CV3230」



「ORPHIS FW5230」



株主の皆様へ

「RISO Vision 16」の総括と、当期の株主還元について

平成28年3月に終了した第五次中期経営計画「RISO Vision 16」の総括と、当期の株主還元についてご説明いたします。

売上高・営業利益は当初計画に届かずも ROEは目標を上回る

第五次中期経営計画「RISO Vision 16」では、「個の発想と実行力によって企業活動を活性化し、全世界で販路拡充と新規顧客の獲得を実行する」を経営目標とし、連結売上高860億円、連結営業利益70億円、ROE 7%を数値目標に掲げました。

しかしながら、インクジェット事業の売上を伸ばしたものの、孔版事業の売上が減少傾向を続け、当初計画には届きませんでした。ROEは目標の7%を上回りましたが、連結売上高と、連結営業利益は未達に終わりました。

地域別では、国内は初年度が増収だったものの、その後は2期連続で減収。米州は販売が減収傾向にありましたが、為替の影響で増収となりました。欧州ははじめの2期は増収でしたが、3期目は減収となりました。アジアは3期とも増収でした。

当期末配当は15円増配の60円に

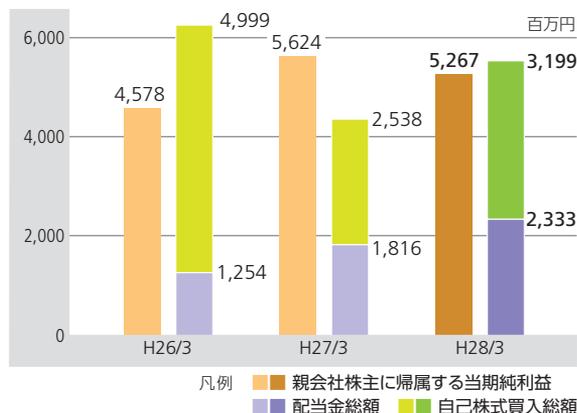
当社は、「企業体質を強化しつつ業績に裏付けられた成果の配分を行うこと」「安定配当の継続に努めること」の2点を利益配分に関する基本方針としています。また、自己株式の取得も利益還元のひとつと考え、株価水準や市場動向を勘案しながら実施しています。

具体的には「配当については、期末配当による年1回の剰余金の配当を行う」「自己株式については、株価水準や市場の動向を考慮しながら適宜取得し、所有する自己株式は原則として消却する」ことが基本的な考え方です。

「RISO Vision 16」期間中は、この基本方針を踏まえ、営業成績を反映させた配当を行うことを原則としました。期間中における総還元性向は104.3%です。

なお、平成28年3月期末の配当は、前期より15円増配し、1株につき60円といたしました。当期の配当性向は45.2%、総還元性向は105.0%です。自己株式については、当期中に合計148万7千8百株を31億9千9百万円で取得しました。

株主還元



連結業績ハイライト

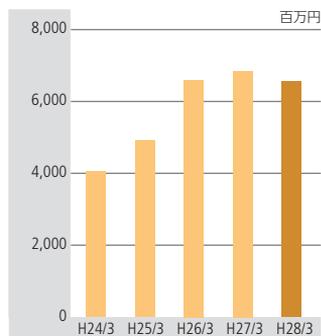
(注)記載金額は、表示金額未滿を切り捨てて表示しております。

売上高

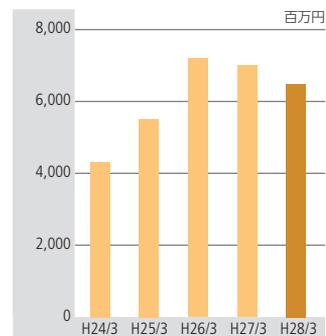


凡例 ■ 国内 ■ 海外

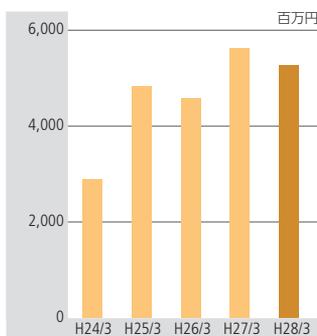
営業利益



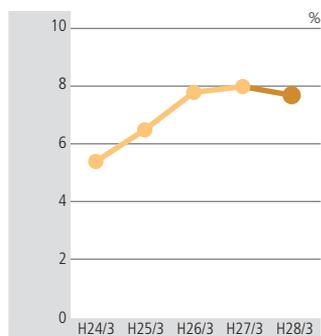
経常利益



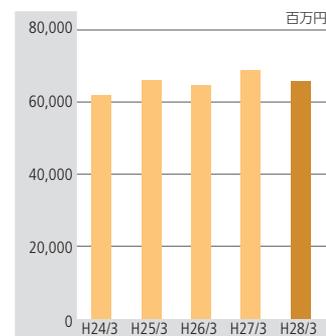
親会社株主に帰属する当期純利益



売上高営業利益率



純資産



	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期
売上高 (百万円)	74,847	75,455	83,938	85,674	85,454
国内 (百万円)	48,196	48,637	50,077	49,158	48,561
海外 (百万円)	26,651	26,817	33,861	36,516	36,893
営業利益 (百万円)	4,050	4,910	6,588	6,839	6,551
経常利益 (百万円)	4,309	5,512	7,192	6,999	6,476
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,886	4,827	4,578	5,624	5,267
売上高営業利益率 (%)	5.4	6.5	7.8	8.0	7.7
純資産 (百万円)	61,825	66,033	64,804	68,946	65,879



新中期経営計画と平成29年3月期の方針、業績見込みについて

この4月より新たにスタートした第六次中期経営計画「RISO Vision 19」。
この3カ年計画の概要や今期の経営方針、事業展開、業績見込み等についてご説明いたします。



代表取締役社長 羽山 明

独自の新製品で新規顧客の獲得を目指す

第六次中期経営計画「RISO Vision 19」は、「全世界で安定した利益体質を拡大するため、世界にない商品企画力を発揮し、市場設置台数を増加する」をマネジメント目標に掲げ、連結売上高850億円、連結営業利益70億円、ROE 7%を最終年度の数値目標としています。

当社はサプライ(消耗品)の収益を当社の生命線と認識し、販売部門はこれを増加するために「新規顧客の獲得」「販路の拡充」を実行してまいります。

開発ポリシーである「世界に類のないものを創る」を実践し、独自の製品開発を行い、新規顧客の獲得による市場設置台数の増加を推進することを目指します。

新製品の投入を最大限に活用して販売活動に注力する

平成29年3月期では、「開発・製造・販売部門は新製品の投入と展開を成功させる」「販売部門は新製品を最大限に活用し市場設置台数の増加を実現する」を経営方針とし、全世界で市場設置台数の拡大を図る販売活動に注力しています。

インクジェット事業は、本年9月から、高い生産性をさらに追求した「オルフィスGDシリーズ」を発売します。オフィスの多枚数市場に加え、ライトプロダクション市場を視野に入れます。孔版事業では、生産性・画像性・操作性の基本性能を大幅に向上させた普及機「リソグラフSFシリーズ」4機種を本年8月から国内で発売し、順次、海外へも展開していきます。

また、本年5月31日からドイツで開催された、世界最大

規模の印刷総合見本市「drupa 2016」では、参考出品としてロール紙を使った帳票印刷用途向けフルカラーインクジェットプリンター『RISO T1』とカット紙のフルカラー高速インクジェットプリンター『RISO T2』を展示し、新規事業の可能性を探りました。

今期の期末配当は、当期と同様の60円を予定

これらの施策により、平成29年3月期の業績は、売上高820億円、営業利益40億円、経常利益40億円、親会社株主に帰属する当期純利益28億円を見込んでいます。新製品の投入により、全世界での販売を伸ばす計画ですが、売上高は為替の影響により4.0%の減収を見込んでいます。営業利益は、新製品投入に伴う設備投資の減価償却費増加と販売費用の増加、および為替の影響により38.9%の減益となる見込みです。売上高営業利益率は4.9%の予想となります。

平成29年3月期の期末配当予想は、今期の業績と財務状況を鑑み、当期と同様の1株当たり60円を予定しています。また、本年5月9日に自己株式の取得を発表し、平成28年5月18日から6月17日にかけて34万株、5億円を上限とした買い入れを行いました。

昭和21（1946）年に創業した当社は、本年70周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方の温かいご支援によるものと、深く感謝いたします。株主の皆様には、引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第六次中期経営計画 RISO Vision 19

（平成28年4月1日～平成31年3月31日）

マネジメント目標

全世界で安定した利益体質を拡大するため、世界にない商品企画力を発揮し、市場設置台数を増加する

アクションプラン

1. サプライ収益を当社の生命線と認識し、販売部門はこれを増加するために「新規顧客の獲得」「販路の拡充」を実行する
2. 開発部門は技術の可能性を追求し、新規事業創出に挑戦する
3. 製造部門の長期的・継続的なレベルアップのための人材育成と体制整備を行う
4. 社員が実力を発揮し成長を実感できる企業風土を醸成し、経営を主導するリーダーを育てる

数値ターゲット

連結売上高:	850億円	（※前提とする為替レート： 1米ドル108円、 1ユーロ122円）
連結営業利益:	70億円	
ROE:	7%	

平成29年3月期経営方針

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

- (1) 開発・製造・販売部門は新製品の投入と展開を成功させる
- (2) 販売部門は新製品を最大限に活用し市場設置台数の増加を実現する



財務諸表の概要(連結)

貸借対照表

(資産の部)

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成27年3月31日	平成28年3月31日
流動資産	51,988	50,938
現金及び預金	14,074	16,943
受取手形及び売掛金	15,877	15,257
有価証券	5,120	3,430
たな卸資産	12,763	11,199
その他	4,488	4,407
貸倒引当金	△ 335	△ 300
固定資産	42,350	40,730
有形固定資産	32,790	32,343
建物及び構築物	9,967	8,701
機械装置及び運搬具	980	1,444
土地	17,031	15,921
その他	4,810	6,276
無形固定資産	3,299	2,671
のれん	9	83
ソフトウェア	1,965	1,582
その他	1,324	1,006
投資その他の資産	6,260	5,715
投資有価証券	2,260	1,604
その他	4,050	4,162
貸倒引当金	△ 51	△ 51
資産合計	94,338	91,669

(注) 当期の有形固定資産の減価償却累計額38,545百万円

(負債の部)

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成27年3月31日	平成28年3月31日
流動負債	22,682	22,198
支払手形及び買掛金	10,323	10,538
短期借入金	2,586	1,620
一年内返済予定の長期借入金	2	1
その他	9,770	10,037
固定負債	2,709	3,591
長期借入金	27	18
退職給付に係る負債	2,277	3,130
その他	404	442
負債合計	25,392	25,789

(純資産の部)

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成27年3月31日	平成28年3月31日
株主資本	67,255	67,506
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	46,837	50,287
● 自己株式	△ 8,475	△ 11,675
その他の包括利益累計額	1,690	△ 1,627
その他有価証券評価差額金	629	137
為替換算調整勘定	1,114	△ 246
退職給付に係る調整累計額	△ 53	△ 1,518
純資産合計	68,946	65,879
負債純資産合計	94,338	91,669

POINT① 自己株式

当期は148万7千8百株(31億9千9百万円)の自己株式を取得しました。

(注)記載金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成26年4月1日～ 平成27年3月31日	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日
売上高	85,674	85,454
印刷機器事業	84,195	84,063
日本	47,778	47,276
米州	5,797	6,195
欧州	17,547	15,555
アジア	13,072	15,035
不動産その他事業	1,478	1,391
売上原価	35,734	35,640
売上総利益	49,939	49,814
販売費及び一般管理費	43,100	43,262
営業利益	6,839	6,551
営業外収益	350	373
営業外費用	189	449
経常利益	6,999	6,476
特別利益	81	1,645
特別損失	59	465
税金等調整前当期純利益	7,021	7,655
法人税等	1,397	2,388
親会社株主に帰属する当期純利益	5,624	5,267

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成26年4月1日～ 平成27年3月31日	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,650	8,681
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,403	△ 952
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,261	△ 5,902
現金及び現金同等物に係る換算差額	560	△ 565
現金及び現金同等物の増減額	3,546	1,260
現金及び現金同等物の期首残高	14,580	18,127
現金及び現金同等物の期末残高	18,127	19,388

POINT② 売上高

前期に比べ2億1千9百万円減少しました。為替影響額は3億2千1百万円でした。

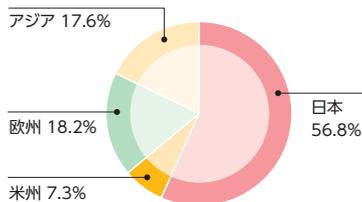
POINT③ 販売費及び一般管理費

インクジェット事業譲り受けにより発生したのれんの償却は前期をもって完了しましたが、アジアでの販売費用と新製品の開発費が増加しました。

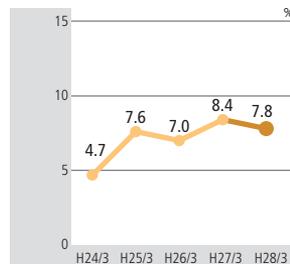
POINT④ 特別利益

新大阪ビル売却等の特別利益を計上しました。

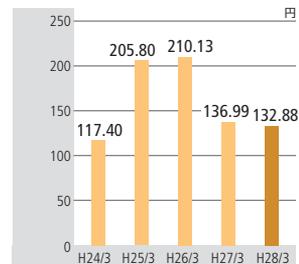
地域別売上高比率



自己資本当期純利益率 (ROE)



一株当たり当期純利益



(注)平成27年1月1日付けで、普通株式1株につき2株の割合を持って株式分割いたしました。



「オルフィスFWシリーズ」を新発売

当社は、高速カラープリンター「オルフィス」の新ラインアップ「オルフィスFWシリーズ」を平成28年3月に発売しました。同シリーズは、現行のEXシリーズに加え、オフィスに導入しやすいコンパクトサイズで、プリントワークをスピーディーに処理します。「オルフィス」の特長である高い生産性と経済性を活かしながら、本体サイズの幅をEXシリーズに比べ約3分の2に抑えました。

「オルフィスFWシリーズ」は新開発のプリントヘッドの採用により、A4フルカラー1枚あたり1.52円*、モノクロ1枚あたり0.41円*のさらなる低ランニングコスト化を実現しました。また、静音設計や新液晶操作パネル

の採用など、オフィスでの使用を想定した使いやすい機能を充実させています。

*A4普通紙片面、RISO FWインク F 使用時。カラーは測定画像にISO/IEC24712に定めるパターンを使用し、ISO/IEC24711に基づく測定方法によって算出。モノクロは測定画像にISO/IEC19752に定めるパターンを使用し、ISO/IEC24711に基づく測定方法によって算出。用紙代別。



「ORPHIS FW5230J」

COP21のオフィシャルパートナーとして300万枚の印刷業務を支援

当社の子会社RISOフランスは、平成27年パリで開催された「国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)」のオフィシャル協力企業の1社に選定されました。会議で使用された約300万枚の多言語文書の印刷業務を、高速カラープリンター「オルフィス」(海外ブランド名:ComColor)で支援しました。

Voice

これほどの大規模な国際会議におけるパートナー企業に選ばれ、大変誇りに思います。お客様にとっても、ふだん使用している機械が信頼に値する証明になり、喜んでいただけていると考えています。



RISOフランス社長
ファブリス・スポジト



COP21の印刷ルームとオフィシャルパートナーロゴマーク「オルフィス」計8台で2週間の会期中に300万枚の多言語文書を印刷



箱根駅伝の号外印刷に「オルフィス」が活躍

平成28年1月2日、3日に行われた「第92回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)」のレース結果の号外印刷に高速カラープリンター「オルフィス」が活躍しました。大会を共催する読売新聞社と連携しながら、現地で記事を編集。車に搭載された「オルフィス」でレースの結果を素早く大量に印刷し、往路・復路それぞれゴール付近に集まった多くの方々に号外として配布しました。



往路ゴール付近での号外配布の様子

「鹿島アントラーズ」を公式スポンサーとして応援

当社は、茨城県鹿嶋市を本拠地とするプロサッカークラブ「鹿島アントラーズ」をJリーグ2016シーズンのクラブオフィシャルスポンサーとして応援し、ユニフォームの背中裾にロゴマークを掲出しています。チームの応援を通じて当社は、ブランド価値の向上を図るとともに開発・製造拠点を置く、茨城県のスポーツ振興と活性化に貢献します。



©Kashima Antlers

ユニフォームの背中裾に掲出する当社ロゴマーク

創業70周年を迎えました

当社は、おかげさまで創業70周年を迎えることができました。ホームページに創業70周年記念サイトを掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



創業70周年記念サイト
<http://www.riso.co.jp/70th/>

70th
Anniversary

創業70周年
シンボルマーク

熊本地震への義援金寄付を実施

当社は、4月に発生した平成28年熊本地震の被災者支援と被災地復興のため、日本赤十字社を通じて100万円の義援金を寄付いたしました。



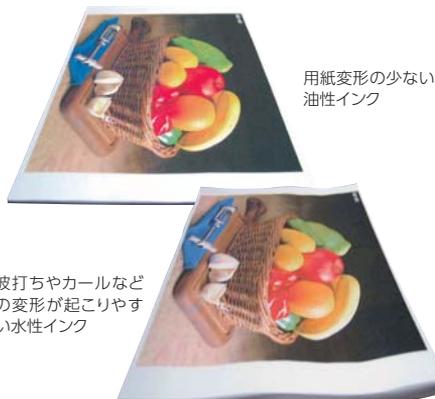
世界最速の カラープリントを支える 「オルフィス」インク



高速カラープリンター「オルフィス」に使われているのは、当社が独自開発した油性顔料インク。安定した品質を保ち、耐水性に優れ、高速印刷に適しています。今回は、「オルフィス」のインクについて紹介します。

高速印刷に適していること、それが油性インク採用の理由

一般的なオフィス用のインクジェットプリンターで採用されるインクは、水性がほとんどです。しかし、「オルフィス」は、当社が独自開発した油性インクを使用しています。水性インクでは、印刷直後に用紙が水を吸収し、紙の中の繊維が伸び、波打ちやカールなどの変形が出やすくなります。油性インクは乾燥が速いうえ、印刷直後の用紙の変形がなくスムーズな用紙搬送が行えるため、高速印刷に適しています。印刷直後の後処理（丁合、製本など）も確実に行えます。



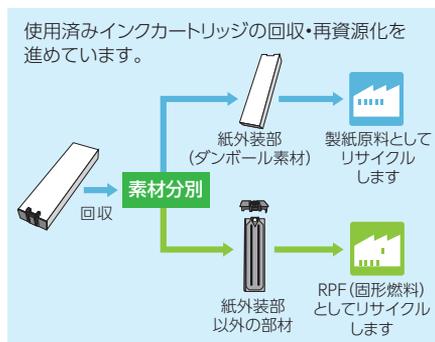
用紙変形の少ない
油性インク

波打ちやカールなど
の変形が起こりやすい
水性インク

地球にやさしいインク 各種環境ラベルや規制に対応

「オルフィス」のインクは、本体やオプション機器と同様に、グリーン購入法適合、エコマーク認定商品、欧州RoHS指令の環境ラベルや規制に対応しています。また、使用済みのインクカートリッジについては回収し、再資源化を進めています。

「オルフィス」インクのリサイクルフロー



「RISO FWインクF」「RISO FWインクH」
エコマーク認定番号15142010
「RISO FWインクA」
エコマーク認定番号15142009



RISOのお客様

「オルフィス」や「リソグラフ」をお使いいただいているユーザーの方々を紹介するコーナーです。
今回は、北海道テレビ放送株式会社様と有限会社生倅様をご紹介します。

ORPHIS
気兼ねしていたカラーが、当たり前



北海道テレビ放送株式会社 (北海道札幌市)

北海道テレビ放送株式会社様は、道民への生活情報発信はもちろん、国内外へ北海道の魅力を伝える事業活動も盛んな放送局です。印刷コスト改善のため、編成やイベントを担当する部署に「オルフィス」4台を一括導入されました。

放送局では、毎日途切れることなく放送する番組の企画書や原稿など、大量の印刷物が発生します。看板番組では1カ月に10万枚以上のかかりの量。「オルフィス」導入前は、経費コストの面からカラーの使用を抑制されていたようです。「気兼ねしていたカラーが、いまは当たり前になりました」と笑顔で話す担当者様。さらに、「オルフィス」の印刷スピードにも、「ページ数が多い冊子を刷るときも、とにかく速い。急なチラシの増刷などの緊急対応にも大変役立っています」とご満足いただいています。

RISOGRAPH
インクの豊富さと印刷スピードに満足



有限会社生倅 (兵庫県尼崎市)

有限会社生倅様は、「お断りしない」を基本ポリシーにお客様に頼られるオンリーワンのお店を運営している印刷会社です。製品品質と業務効率の向上を図るため、「リソグラフ」を導入されました。店舗のメニューや封筒、伝票類、チラシ、パンフレットなど、様々な印刷物を提供しています。

導入のきっかけは、豊富なインクバリエーション。「白などの特殊な色は、いままでのプリンターでは出せなかった。欲しい色に対応できるのは、唯一リソグラフだけです」と代表者様。「しかも導入後は、業務効率が格段に向上しました。以前なら3日間を費やした折込チラシの大量印刷が、いまは半日で済みます。印刷ミスもほとんどありません」と、業界最速毎分185枚*の印刷スピードに、とても満足している様子です。

*リソグラフSEの場合。ハイスピードモード、機械内部の温度が20℃以上、A4サイズ以下定形サイズ、ストレート給紙時。2015年5月現在販売のオフィス用デジタル孔版印刷機において業界最速(当社調べ)。

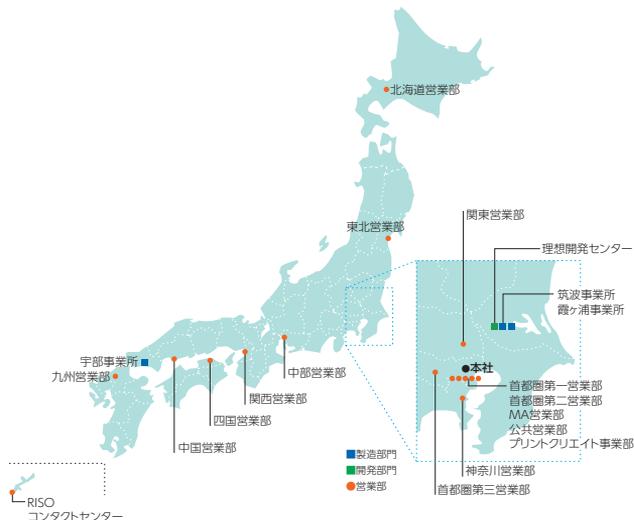


国内

当社の販売ネットワークは14営業部46支店2出張所及び販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。

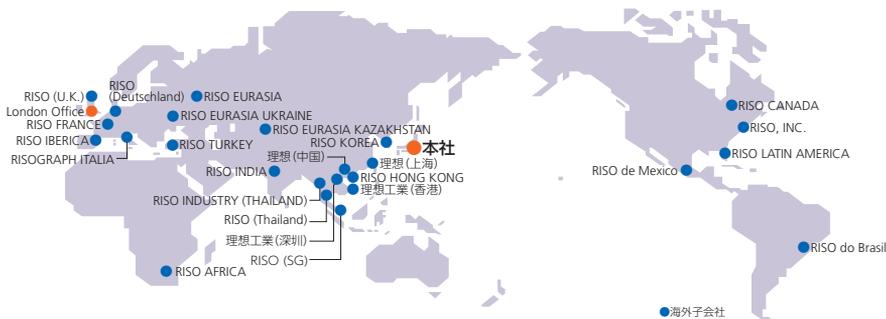
国内3カ所の製造拠点では、オルフィスのハードウェア・インク及びリソグラフのインク・マスターなどを生産しています。

開発部門は茨城県つくば市の「理想開発センター」に集約し、業務効率の向上を図り次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。



海外

当社は25の海外子会社を中心に、オルフィス、リソグラフなどの販売や技術サポート、消耗品の供給を行っています。また、中国・広東省の深圳工場と珠海工場、タイ・アユタヤ県のロジャナ工場では、リソグラフハードウェアの生産を行っています。RISOグループ3,500名以上のスタッフが、様々な国の人たちとのコミュニケーションを大切にし、多くのお客様をサポートしています。



● 海外の主な子会社

- RISO, INC.
- RISO CANADA INC.
- RISO LATIN AMERICA, INC.
- RISO de Mexico, S.A. de C.V.
- RISO do Brasil Ltda.
- RISO (U.K.) LTD.
- RISO (Deutschland) GmbH
- RISO FRANCE S.A.
- RISO IBERICA, S.A.

- RISOGRAPH ITALIA S.p.A.
- RISO EURASIA LLC
- RISO EURASIA KAZAKHSTAN LLC
- RISO EURASIA UKRAINE LLC
- RISO TURKEY BASKI COZUMLERI A.S.
- RISO AFRICA (PTY) LTD.
- 理想工業(香港)有限公司
- 理想工業(深圳)有限公司

- 理想(中国)科学工業有限公司
- 理想(上海)印刷器材有限公司
- RISO HONG KONG LTD.
- RISO (Thailand) LTD.
- RISO INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.
- RISO INDIA PRIVATE LTD.
- RISO KOREA LTD.
- RISO (SG) PTE. LTD.



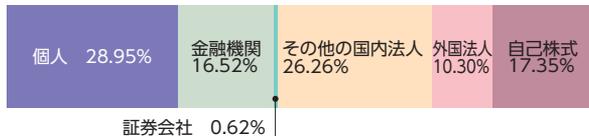
株式の状況 (平成28年3月31日現在)

発行可能株式総数 135,680,000株 (前期末比 増減なし)

発行済株式の総数 47,406,332株 (前期末比 増減なし)

株主数 3,031名 (前期末比 345名 増加)

株式数比率



大株主一覧(上位10人)	持株数(千株)	持株比率(%)
理想科学工業株式会社	8,518	17.97
有限会社理想社	4,941	10.42
公益財団法人理想教育財団	2,661	5.61
あかつき興産株式会社	1,959	4.13
理想科学工業従業員持株会	1,653	3.49
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 東京都民銀行口再信託受託者資産管理 サービス信託銀行株式会社	1,567	3.31
羽山 治	1,194	2.52
羽山 明	1,192	2.52
羽山 尚	1,180	2.49
伊藤 眞理子	1,170	2.47

自己株式の取得について

当期中に取得した自己株式は下記のとおりです。

取得した株式数 1,487,800株
取得価格 3,199百万円



会社概要

商号 理想科学工業株式会社
本社 〒108-8385
東京都港区芝五丁目34番7号
創業 昭和21年(1946年)9月2日
会社設立 昭和30年(1955年)1月25日
資本金 14,114,985,384円
(平成28年3月31日現在)
従業員数 1,697名(グループ全体 3,563名)
(平成28年3月31日現在)
子会社 28社(国内2社 海外26社)
(平成28年3月31日現在)
役員
代表取締役社長 羽山 明
常務取締役 遠藤喜八郎
取締役 高橋 康信
取締役 池嶋 昭一
取締役 成宮 慶臣
取締役 上田 雅弘
取締役 橋本総一郎
取締役 氏家 直樹
取締役 加野 敏明
取締役 林 享史
取締役 大島 健嗣
取締役 西山 武彦
常勤監査役 田澤 康男
常勤監査役 白井 信義
監査役 飯塚 良成*
監査役 八田 進二*
(平成28年6月24日現在)

(注)*印は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

将来に関する記載等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発行日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次業務は三井住友信託銀行株式会社の の全国各支店で行っております。
公告掲載URL	http://www.riso.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によ って電子公告による公告ができない場 合は、日本経済新聞に掲載します。
理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル 電話 03-5441-6611

株主インフォメーション

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため当社が開設した特別口座にご所有の株式が記録された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金計算書について

配当金お支払いの際にご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。



本株主通信は、環境にやさしいFSC®認証紙と、植物性インキを使用しております。

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.riso.co.jp/>

理想科学工業株式会社

本社 / 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル